

有朝

— 高橋英雄 詩集 —
第十六号

夢 (二)

令和3年11月15日

そこは暖いところだった
ハワイのようだ

私の教会が建っている

今日は集会のある日で

どんく／＼人が集っている

元気に挨拶して入って来る人々は

みな日本人だ

私は久し振りに会うようだ

以前会った時より皆生き／＼と元氣だ

家内が私の仕事を手伝ってくれている

人々に私が集会の進め方を説明している

家内はニコ／＼そばに立って見守っている

「人間と真実の生き方を奉唱し、世界平和

の祈りを一回祈る。それから短かい法話。

そのあと地球世界感謝行、

世界各国の平和の祈り、最後に統一」

そう話している間にも自家用車で人々が来る
小高い丘の上に教会があるようだ

集まる人は

家内が天界に召されたことを知っている
その彼女が天降り肉体界に姿を現わしている

「家内が私により添っているように

守護霊守護神さんが一人一人に寄り添っ

ているのです」

話はしやすい

家内がニコニコ笑って世話しているから

人々は納得する

「救世の大光明といって、神さま仏さまの
名をあげないのは、一つの神、一つの佛

に人間が捉われてしまうから・・・

念佛の人にはアミダ様、クリスチャン

にはキリスト様、神道人には神道の神さ

まが救世の大光明と輝いて、世界平和を

祈る人に必ず降りて、祈る自分も救われ、

人類の救いの為に働くのです」

集会が始まらない前の説明の段階で

目が覚めた



真向うひた押し（一）

令和3年11月2日

真向うひた押し世界平和の祈り
いのちのあらん限り
力のあらん限り
世界人類が平和でありますように
五井先生ありがとうございます
と唱えるべし

体が不調であろうと
頭も足もふらふらしようと
五井先生くくと唱える以外道なし
わが生きる道は五井先生のみ
われを照らす光は五井先生
五井先生く五井先生くくと
赤児が乳を求めて泣くように
ひたすらにく五井先生を呼び奉れ
五井先生の御元に帰えるのだ
五井先生に再びお会い出来るのだ！
生まれ故郷を目ざして遡上する鮭のように
ひたすらにく
五井先生を思って走るのだ
五井先生くとお呼びし突っ走るのだ

真向うひた押し（二）

令和3年11月3日

真向ひた押し世界平和の祈り
いのちのあらん限り
力のあらん限り
世界人類が平和でありますように
五井先生ありがとうございます
とただただ唱えるべし
この道より生きる道なし
世界人類が平和でありますように
五井先生ありがとうございます
と唱えるとき
私のいのちは生きる
私のこころは輝く
私は本心と一つになる
神の栄光を現わしている
真向うひた押し世界平和の祈り
いのちあらん限り

真向うひた押し（二）

令和3年10月30日

真向うひた押し世界平和の祈り
いのちのあらん限り
力のあらん限り
世界人類が平和でありますように
五井先生有難うございます
と唱えるべし

汝の往くところは五井先生
汝の命は五井先生のあずかるところ
ただくひたすら五井先生を呼べ。
五井先生を呼んで
五井先生の中に入れ！
五井先生は大慈大悲の大光明
無限なる命 無限なる光明 無限なる供給
五井先生を唱えつつけ
五井先生を呼びつつけていれば
すべて必要なものは必要な時に与えられる
汝に必要なものは
五井先生がすべてご存知である。
五井先生は心のふるさと 魂のふるさと
命の大親さまなれば

夢（二）

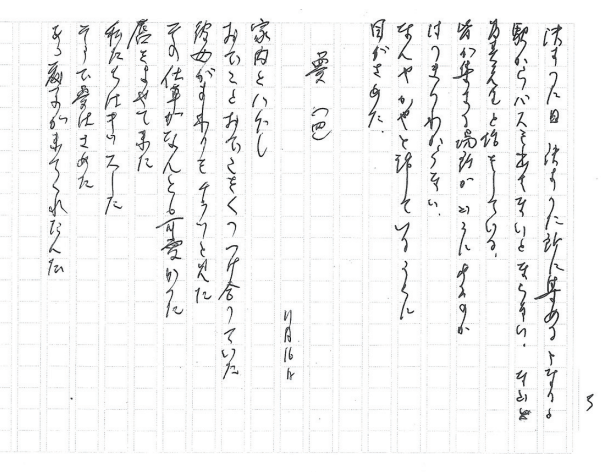
令和3年11月15日

宇宙子科学メンバーに召集がかかった
集まった顔（かお）ぶれをみると
みな見知らぬ若い人ばかり
これだけの人間を
決まった日 決まった所に集めるとなると
駅からバスを出さないとならない、などと
昌美先生と話をしている。
皆が集まる場所がどこにあるのか
はつきりわからない。
なんやかやと話しているうちに
目が覚めた。

夢（四）

11月16日

家内とハゲし
おでことおでこをくつつけ合っていた
彼女がまわりをチラッと見た
その仕草がなんとも可愛かった
唇をよせて来た
私たちはキッスした
そこで夢はさめた
あつ藤子が来てくれたんだ



一人ではない

令和3年12月

一人一人の使命が完うされる時が来た。
一人一人の人生を完成する時が来た。
われわれは一人ではない。
守護霊守護神に守られている。
数多の法友神がいる。
五井先生が守ってくれている。
過去はない 過去は消えた。
過去世はない 過去世は消えた。
現在はずべて現われては消えてゆく姿。
無限なる光明のみが前途にひろがっている。
老子がいる
お釈迦さまがいる
イエス様がいる
役ノ行者がいる
法然上人がいる
たくさんのお大師たちがいる
インドの聖者たちもいる
みな光の固りとなって
われ／＼とともに進んでいる。
われ／＼は一人ではない。
われら五井先生の化身となって
世界平和の祈りを祈る

五井先生の化身となって印を組む
救世の大光明霊団の一員である。

犠牲は不要

令和3年12月

親が子の犠牲とならない。
子孫が先祖の犠牲とならない。
国民が国の犠牲とならない。
誰一人として他の犠牲とならず
誰一人として殺生せず
誰一人として人を陥（おとし）れない
その身そのまま神の慈愛をひびかせる祈り。
神の無限力を現わす神聖復活の印が
世の中を安心立命に導きいれる。
これからの宗教は自由で軽やかで伸びやかで
愛 歓喜 明朗 無限なる富を
一人一人が自らの能力として
自然と現わしてゆく道となってゆく。



第十六号 編集後記

今年は寒さが長引き、やっと春になったら一気に汗ばむ日が増え、地震や山火事も頻繁に起こり、梅雨に入る前に台風がやってきて、世界の治安経済状況も良くなり、まるで地球が悲鳴を上げているようです。

だからこそ気を取られず、心を鎮めて印を組み、「五井先生」世界人類が平和でありますように」の唱名一如ですよ。

高橋先生のお声が聞こえてきます。

令和八年六月吉日 O・K

編集発行 白光真宏会 大阪支部

住所 〒550-0002

大阪市西区江戸堀2-7-32
ネオアージュ土佐堀303号

TEL 06-6444-8620
FAX 06-6444-8620